



SAPIENTIA No. 22

発行:サピエンチア会(聖トマス大学・英知大学同窓会) 〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1 発行責任者/藤本滝三 編集/サピエンチア会



文学部イスパニア文学科
1973年卒
サピエンチア会会長
藤本 滝三

ごあいさつ

同窓会会員の皆様には、日頃より同窓会活動に、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、すでにご承知のことと存じますが、待ちに待った新入生募集の再開が2015年まで不可能となった事が各新聞紙上で取り上げられました。これまでも、青天の霹靂の如き事柄を多数体験してきましたが、今回もまた同様の結果となってしまいました。同窓会では、去る9月6日に大学におきましてこの問題に対応すべく、ライアン学長との話し合いの場を設けていただきました。

その結果、同窓会として一番気になる現役学生(3回生・4回生)の処遇に関して、たとえ留年される学生があったとしても全員が卒業されるまで大学として責任を持つとの回答をいただき、まずは安心致しました。また、ここまでに至った経緯に関しましては、リン理事長及びライアン学長のコメントを同封させていただきました。

更にもう一つ同窓会として気になる、今後の大学の運営方針に関しましては、2014年に再度、学部新設の申請を文部科学省に提出すると共に新入生募集活動を再開させ、承認を受ける事が出来れば2015年より新入生の受け入れを開始したいとの事でした。我々同窓会としては、2014年度に予定する再申請の際には、前回の轍を踏まないように希望すると同時に、最短で新入生が入学できる可能性がある2015年までの間、教職員の皆さんがモチベーションを落とすことなく頑張っていたいただきたい旨お伝えいたしました。

さて、来る11月3日のホームカミング日には、皆様とご一緒に大学の新たな門出に向けての祝杯を挙げる事が出来ると思っただけに残念で仕方ありませんが、150名(3回生・4回生)弱の現在在校生と共に英知大学・聖トマス大学として最後の大学祭を盛り上げて行きたいと思っております。当然今年は、従来のような大きな規模の大学祭は無理ではありますが、何としても最後の大学祭を実施したいと望む在校生有志の皆さんの意志を尊重し、同窓会・在校生一体となった催しを現在企画・準備中でございます。

また、以前にもご連絡させていただいた松本信愛先生の退任のお祝いも同時に行ないたいと考えております。(今年は大学祭実行委員会が結成されませんでしたので 在校生・同窓会・大学が一体となって共同開催致しますので“合同祭”と名付けました。)

皆様、どうか万障お繰り合わせ、お友達をお誘いの上、そして熱い気持ちを持って再度母校の庭にお集まり頂けるようお願い致します。

サピエンチア会ホームページのご案内

<http://www.sapientakai.com/>



ご存じの通りサピエンチア会は、収入の柱である入会金が絶たれ、会の運営が非常に困難な状況にあります。経費の中でも、会報の印刷代、郵送費が大きなウエイトを占めております。

今後は郵送でのご案内から、ホームページへの掲載をもってご案内とさせていただくことが避けられません。

サピエンチア会では、大学の状況や卒業生へのご連絡等、以前にも増して、ホームページの更新・充実を図っております。一度、ぜひ、覗いてみてください。

住所変更等、各種お問い合わせはこちら

jimukyoku@sapientakai.com

TEL&FAX 06-6498-6258

サピエンチア会 同窓会事務局

【同窓会への寄付金のお願い】

旧英知短期大学・旧英知大学・聖トマス大学卒業生並びに関係者の皆様、平素は同窓会活動にご協力頂き誠にありがとうございます。

現在、同窓会の在籍者は、一万名を数え、母校の発展に寄与するため、在校生の支援、毎年のホームカミングデイの開催を主な活動として、存続してまいりました。

皆様もマスコミ報道等でご存じの通り、母校は、2010年度からの新生の募集停止の発表から、一転して新たな経営陣の下で、新生大学として2012年度から新生の募集を再会する予定になっておりましたが、学校サイドの不備により、文部科学省からペナルティーを課され、早くとも2015年度まで新生を迎える事の出来ない異常な事態に陥りました。

今後、数年は、在校生からは、同窓会入会金が全く入らない状態が続き、同窓会活動も、未だかつて無い危機的状況を迎えます。

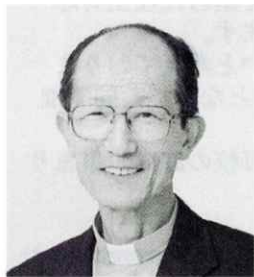
来年度は、4回生が約50名と言う文字通り、母校も崖っぷちの状態です。

しかし、同窓会としても、なんとか、母校の存続、発展、そして同窓生が母校へ帰って来れる環境を調べ、今後とも活動をして行く所存ですので、経済状況の厳しい中誠に心苦しいのですが、皆様にご寄付をお願い致します所存でございます。

何卒、これらの趣旨をご理解頂き、同封の振込用紙にて、ご寄付をお願い致します。



【松本信愛先生の退官を祝う会】のお知らせ



今年の1月末に皆様にはすでにお知らせをさせて頂きましたが、皆様、ご存じの松本信愛先生が2011年3月末をもちまして聖トマス大学を退官されました。

1971年に英知大学に赴任され、実に40年間にわたり英知大学のまさに盛衰と我々の成長を見守って頂きました。その柔らかな眼差しと温和なお人柄は皆様の方が御承知かと思われまます。同窓会に対しましても幾度となくご助言やご援助を頂き、本当に感謝の念に耐えません。その信愛先生から直接、退官後の近況や英知大学在籍中の楽しいエピソードなどをお聞かせ頂きたく思い、この11月3日(祝)のホームカミングデイにお招きしまして同窓会主催の「松本信愛先生の退官を祝う会」を開催させて頂きたいと思ひます。皆様お誘いあわせの上、沢山のご出席をお待ち致します。

【合同祭】

ホームカミングデイのお知らせ

今年の大学祭は在校生の総数が150名足らずで実行委員会も結成する事が出来ず、我々同窓会と共同開催と言う形で、ホームカミングデイの中に在校生が交じって開催する運びとなりました。

【聖トマス大学合同祭】と名をぶち上げ、聖トマス大学最後の学祭をみんなで大いに盛り上げ、楽しく過ごし沢山の思い出を作ろうと準備を進めています。

日時：2011年11月3日(祝)9時30分～17時00分

場所：コロクトリウム サピエンチェ

ホームカミングデイ会場



【スケジュール】

9時30分 教職員卒業生物故者の追悼ミサ(チャペル)

10時10分 同窓会総会 (コロクトリウム)

11時00分 パネルディスカッション(コロクトリウム)

12時30分 ホームカミングデイ (コロクトリウム)

学長挨拶

松本信愛先生退官のお祝の会

扇 敏子クワルテット ミニコンサート

平山修三 ミニコンサート

留学生による歌と漫談

学生さん達によるカラオケ

ビンゴ大会

17時00分 閉会の挨拶

【扇 敏子クワルテットプロフィール】

軽音楽部OBの佐々木敏子(ピアノ)1973年英文科卒・高園恵嗣(ドラム)1973年仏文科卒・大谷 茂(ギター)1974年 仏文科卒・亀本憲寛(ベース)1974年 英文科卒 2年半ほど前からバンドを再結成しスタンダードジャズを中心にボサノバ等を練習し現在に至る。

【平山修三 プロフィール】

1978年イスパニア文学科卒 大学在学中よりバンド活動を始める。大学卒業後sweet areaバンドでライブ活動をし、有名ミュージシャンのバックアップや共演をする。平成8年のオープン時より、大阪帝国ホテル、パタパタ・デ・ラ・サルサの音響、証明エンジニアとして勤める。

編集後記

新しい大学について皆様にご報告する予定で、そろそろ会報の準備をしようと思っていた矢先、皆様ご存じの通り、8月に入って！大どんでん返し！会報どころではない状況が最近まで続いておりました。

大学祭の方も現役学生が就職活動や教職実習等で忙しい3、4年だけでは実行委員会のメンバーも集まらず中止が予定されていました。

『大学祭がないのにHCD出来るの？』という疑問もあがっておりました。

しかし9月に入って急速、学生有志と共同開催という形で大学祭を開催することが決まり、慌てて会報も発行することになりました。そんな訳で、ページ数も今までの半分の簡素な会報となりましたが、ここに発行することが出来ました。

次回23号につきましては、資金難から郵送は不可能と思われます。

ホームページには掲載を予定しておりますので、裏面URLをお気に入りに登録お願い致します。

1978年イスパニア文学科卒 篠原一夫